

第二中学校

現校舎を振り返る



当時はガラスの
多い校舎だね



境港市立第二中学校校舎（昭和34年ごろ）

境港市立第二中学校校舎は、昭和32年から36年にかけて建てられ、現在までに多くの卒業生を輩出してきました。

その数、総勢1万3千人余を数えます。建設当時は、ガラスを多く取り入れたモダンな校舎でした。そこから50数年、中学校校舎では、県内で最も古き歴史のあるコンクリート校舎でしたが、耐震化のため改築する運びとなりました。

新校舎は、すでに多くの部分が完成し、凛々しい姿を見せています。9月27日（金）には竣工式を行い、境港市民の宝がまた一つ増えることとなります。

今後は、旧校舎を解体し、外溝工事を平成26年夏ごろに終え、境二中の改築が完了します。

《学校沿革》

◇昭和33年4月

渡中学校と誠道中学校を統合し、境港市立第二中学校と改称

◇昭和33年9月

外江中学校を境港市立第二中学校に統合

◇昭和34年5月

境港市立第二中学校新築落成式

卒業生コメント



「旧校舎の思い出」
教育長 佐々木邦広

当時、1クラス定員は45人。1学年6クラスありました。昭和40年代半ばの第二中学校校舎の思い出は、熱気と喧噪の中です。

田畑の中にそびえる鉄筋校舎には「誠道中学校」「外江中学校」「渡中学校」の焼印が押された古い机や椅子が残っていました。先生の伴奏に大きな口をあけて合唱をした音楽室。カエルの解剖実験に肝を冷やした理科室。一度だけ登らせていただいた屋上からの見晴らしの良さは忘れられません。

3年生の時は、防音工事のため運動場東側のプレハブ校舎でダルマストーブを焚いて寒い冬を過ごしました。中庭に残る白いモニメントは、卒業を校舎で迎えられなかった私たちを思つて美術の先生が学級ごとに制作させてくださいました。

友達の幼顔の思い出を残して、新しい校舎に姿を変えていきます。



境港市立第二中学校校舎（現在）



新校舎は完成間近！

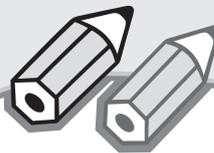
新校舎は来月号にて紹介します！

学校公開日（新校舎）

9月27日（金）

午前10時～午後2時

保護者に限らず、地域の皆さんも新校舎や生徒の様子をご覧ください。



※駐車場は仮設駐車場（体育館東側）をご利用ください。